

令和6年度 第3回 全国健康保険協会愛媛支部評議会 議事概要

令和6年度愛媛支部第3回評議会が開催されました。その概要は以下のとおりです。

開催日時：令和7年1月16日（木）10：00～11：45

開催場所：ホテルマイステイズ松山 3階 ドゥエミーラ

《議題》

第1号議案：令和7年度 愛媛支部保険料率について

第2号議案：令和7年度 愛媛支部事業計画（案）について

第3号議案：令和7年度 愛媛支部保険者機能強化予算（案）について

出席者 大政評議員、岡村評議員、小林評議員、竹村評議員、八石評議員、藤田評議員、
村岡評議員、守谷評議員、渡部評議員（五十音順）

事務局より各議題について資料に基づき説明。

評議員からの質疑・意見等は以下のとおり。

1. 令和7年度 愛媛支部保険料率について

（学識経験者）

2023年度の加入者1人当たり医療費の対前年同期比について、疾病分類別に見ると愛媛は呼吸器系の疾患が全国と比較しても高いとのことであったが、新生物については全国よりも少ないように見て取れ、良い面もあったのではないかと。新生物に対する愛媛支部の取り組みがあれば教えてもらいたい。

（事務局）

愛媛支部の医療費や健診の結果の特徴は血圧のリスクが高い方が多いことがあげられる。また、1人当たり入院医療費の内訳の中で新生物や筋骨格系及び結合組織の疾患が他の疾病に比べて若干高い傾向にある。少し古いデータになるが、令和3年度の医療費を見ると新生物の医療費は低くないため、2023年度の医療費全体を押し上げるほどの寄与度は無かったのではないかと考えている。

（学識経験者）

風邪が多かったことが医療費を押し上げた要因とのことなので、今後の事業を検討する際には、風邪を予防する事業や愛媛県に多い疾患にターゲットを絞った対策を考えてもらいたい。

（議長）

愛媛支部評議会の意見として、令和7年度の愛媛支部保険料率について、10.18%でやむなしということによろしいか。

(評議員一同)

異議なし。

2. 令和7年度 愛媛支部事業計画（案）について

(事業主代表)

資料の中に「顔の見える地域ネットワーク」とあるが、民間の会社でも「顔の見える」という文言はよく使用する。協会けんぽにおいては、具体的にどのような取り組みを行っているか教えてもらいたい。

(事務局)

協会けんぽのウィークポイントとして、様々な情報を発信しようと広報に取り組んでいるものの、情報伝達が上手くいかないことがある。愛媛支部においても約50万人の加入者、2万8千社の事業所が加入されており、支部職員80名だけで情報発信していくのは困難な状況にある。

一方、健康保険組合や共済は「所属している組織＝健康保険組合・共済」であったり、同業種で集まって健康保険組合を作っているなど、何らかの共通項が多く、目的や帰属意識が高いことが協会けんぽと大きく違うところである。

ご質問の「顔の見える地域ネットワーク」の具体例であるが、例えばコラボヘルスでは事業主のお力を借りて、事業主からトップダウンで健康づくりの取り組みへの参加を促して頂いたり、愛媛県や松山市など連携協定を締結している県や市町では、協会けんぽが職場を通じた健康づくりを行う際に行政の力をお借りしたり、逆に行政が実施する健康づくりの取り組みを協会けんぽが広報等で支援することで、加入者がお住いの地域の健康づくりのサービスを受けることができるよう、協力・連携している。

また、各種関係団体では、商工会議所や商工会連合会、中小企業団体中央会など各組織を通じて協会けんぽの広報に協力していただいております。トラックやバス、タクシー協会等の業界団体についても、広報等にご協力いただいております。我々に関わっていただける団体を増やしていけるよう活動しているところである。

(学識経験者)

資料の中で「地方自治体や教育委員会、大学等へ働きかけを行い、若年層への健康教育に取り組む」とあるが、若年層への健康教育はとても重要だと感じている。具体的な計画等が現時点であれば教えてもらいたい。

(事務局)

支部によってどの年代を対象にするかは異なっており、小学生や中学生のみを対象とする支部もあるが、愛媛支部の特色としては対象に大学を入れているところにある。

数年後には社会へ出る可能性が高い大学生は健康教育の内容について具体的なイメージを持ってもらいやすいと考えている。同様の理由から、大学生だけでなく商業高校や工業高校など実業系の高校についても、卒業後就職される方が多いと思われるので実施することを検討している。

また、小中学生についても、食生活の多様化等で若年層のメタボも増えてきているとの

報道もあることから、幅広い年代で健康教育が実施できるよう教育委員会等の関係機関と調整していきたいと考えているが、まずは効果測定が行いやすい年代から実施していく予定である。

3. 令和7年度 愛媛支部保険者機能強化予算（案）について

（学識経験者）

ジェネリック医薬品使用促進メッセージを印字したマイナ保険証用スリーブの作成について、以前は健康保険証に貼るジェネリック医薬品使用促進シールを作成していたとのことであるが、シールにはどのようなメッセージを印字していたのか。マイナ保険証は医療機関で患者本人が機器にかざすのみであり、受付に渡すことがないのでスリーブに印字するメッセージは変更する必要があるのではないかと思う。

また、スリーブの材質等、決まっていれば併せて教えてもらいたい。

（事務局）

健康保険証に貼るジェネリック医薬品使用促進シールについては、「医師・薬剤師の皆様へ ジェネリック医薬品を希望します」とのメッセージを印字している。

ご指摘のとおり、今までは、健康保険証を窓口で渡していたため、医師・薬剤師の方へ直接要望を伝える内容となっているが、マイナ保険証は窓口で渡すことが基本的にはないと思われる。そのため、まだ検討中ではあるが「ジェネリック医薬品を使用しましょう」というような、加入者に対して使用を促す文言を印字する予定である。医療機関や薬局でジェネリック医薬品の使用可否を確認されることも多いと思われるため、加入者の方へ使用を促すメッセージを印字することでジェネリック医薬品使用の意識醸成を図っていきたいと考えている。

また、材質については、イメージとしてはマイナナンバーカードを交付された際に、ビニール製のスリーブに入っていたと思うが、それよりも少し丈夫で、マイナナンバー等が隠れるものを作成する予定である。

以上